

令和 6 年 11 月 7 日  
こども若者局

## 児童館・児童クラブのあり方検討報告書を踏まえた取組状況について

### 1 概要

令和 6 年 3 月に、「仙台市社会福祉審議会・児童福祉専門分科会」及び「仙台市子ども・子育て会議」それぞれに設置された「児童館・児童クラブのあり方検討部会」より、児童館・児童クラブの運営や整備、設備等広範にわたる今後の取り組みについての提言をとりまとめた、「児童館・児童クラブのあり方検討報告書」（以下、報告書という。）が提出された。

この報告書を踏まえた本市における児童館・児童クラブに関する対応方針及び取組状況等について報告するもの。

### 2 対応方針

報告書においては、現在本市が抱える課題に基づく 23 項目の具体的な対応方針が示されていることから、本市としても今後報告書で提言された方針に沿って児童館・児童クラブ事業を推進する。

なお、児童館・児童クラブの整備に関する方針については、報告書の内容を踏まえ以下のとおりとする。

#### ○小学校区単位の児童館整備

- ・身近な地域の子育て支援拠点施設としての役割を果たしていくため、小学校区単位の児童館整備を基本とする。
- ・児童数の減少等により小学校が統廃合される場合は、併せて児童館の統廃合を検討する。

#### ○小学校との合築化

- ・新築・改築する児童館については、児童の安全・安心の観点から、小学校敷地内に整備することを基本とする。
- ・小学校敷地外に設置している児童館は、当該学区の小学校が改築される際に、児童館の老朽度のほか、学校からの距離や学校敷地の状況、児童数推計など、個別の条件を勘案しながら、児童館合築の可否を検討する。小学校よりも先に児童館改築の必要が生じる場合には、小学校敷地内への移転改築の可否を検討する。

### ○児童クラブ専用区画面積の拡大

#### **児童クラブ専用区画の面積基準を、登録児童一人当たり 1.98 m<sup>2</sup>以上とする**

- ・新築・改築する児童館及びサテライト室について、児童の生活の場・遊び場としての十分なスペースを確保するため、児童一人当たり 1.98 m<sup>2</sup>以上に引き上げる。
- ・当面改築予定がない児童館について、児童数推計を踏まえ現在の児童館面積で拡大後の面積基準を適用することができる場合は、拡大後の面積基準により定員を管理する。現面積での適用が難しい場合には、専用区画面積が児童一人当たり 1.98 m<sup>2</sup>以上となるよう順次サテライト室を整備する。
- ・なお、今回の方針が本市の児童館・児童クラブが抱える課題を背景としたものであることから、民設の児童クラブへの影響などを考慮し、条例※に定める専用区画の面積基準「児童一人につきおおむね 1.65 m<sup>2</sup>以上」の改正は行わず、1.98 m<sup>2</sup>以上への拡大については公設の児童クラブを整備運営する上での運用上の基準とする。

※仙台市放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例第 3 条第 2 項

#### **遊戯室は児童クラブ専用区画に算入しない**

- ・新築・改築する児童館においては、遊戯室は児童クラブ専用区画に算入しない。

### ○学校施設へのサテライト室設置

- ・児童の安全・安心の観点から、学校施設の活用を基本にサテライト室を整備する。整備に当たっては、余裕教室の活用を第一に、難しい場合には特別教室のタイムシェアなどにより対応する。

## 3 取組状況及び今後の方針

今後、報告書で提言された 23 項目に沿って進捗管理を行っていくこととする。

現在の取組状況及び今後の方針については、別紙「児童館・児童クラブのあり方検討事業進捗管理シート」のとおり。